

# 時代に合わせたPR 老舗眼鏡店の挑戦

「パンフレットも完成！」



「一人ひとりに  
あった眼鏡をお勧め。  
気軽に立ち寄って」  
と松丸さん

## 有限会社玉屋眼鏡店

有楽町店 〒010-0011 秋田県秋田市南通亀の町4-1 ルーミー730 1F TEL.018-834-4328 FAX.018-832-3030  
営業時間 9:30~18:30/年中無休 [https://peraichi.com/landing\\_pages/view/tamaya](https://peraichi.com/landing_pages/view/tamaya)

店舗には様々な専門資格を持つスタッフが在籍。  
細かな検査を行うため自分だけの眼鏡を作れる。



### 創業70周年を誇る街の眼鏡屋さん



眼鏡に関する多様な資格を持つスタッフが在籍し、街の眼鏡屋さんとして訪れる一人ひとりに“とことん”向き合い続けてきた玉屋眼鏡店。創業以来初めて、社内にPR強化のためのプロジェクトチームが発足したのは2018年のことだ。

「秋田で創業して70年。これまで各店舗のPRは必要最低限しか行っておらず、情報発信の少なさを感じていました」と語るのは同社iLuck店の松丸公巳店長。

お客様目線の懇切丁寧な接客で高い顧客満足度を誇る同社だが、低価格志向の大手眼鏡チェーン店の台頭などにより、業界を取り巻く環境は厳しい。プロジェクトチームでは、松丸店長や各店からの選抜スタッフを中心に、よろず支援拠点のコーディネーターも交えながら個々にアイデアを持ち寄り、時代に合わせた情報発信の要として、HPのリニューアルやSEO対策、フェイスブックでの情報発信と精力的に取り組んだ。

### “店ならではの強み”を発信

「今までやってこなかったからこそ、色々な方法を試しながらの“種まき”が必要でした。コーディネーターから客観的な意見を貰うことで、自分たちの強みを再認識しながら情報発信ができています。

度数を合わせるだけの眼鏡ではなく、その人自身の習慣や視機能といった細かなデータを見極めた上での眼鏡

作りができるのは、老舗の技術を持つ同社ならではのことで。それに加え、各店舗が持つ特徴と強みを分かりやすく表現した新たなPRパンフレットも完成した。

「眼鏡はただの道具ではなく、その人の体の一部。これからも私たちの想いを発信し、少しでも多くの方のお役に立ちたいと思っています」。



活用事例

## 秋田県よろず支援拠点

売上拡大、経営改善など経営上のあらゆる悩みの相談に対応。  
コーディネーターを中心とする専門スタッフが適切な解決方法を提案します。

お問い合わせ 秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605